

協育新聞

「協育」という波紋を拡げます

会報誌第46号

2022年7月31日発行

発行：NP0法人 大分県「協育」アドバイザーネット



3年ぶりの開催です！

第39回 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会に参加して

理事長 中川 事務局長 上原

本交流会は、中国・四国・九州地区の様々な機関・組織・団体等がそれぞれの地域での生涯教育の実践活動を交流して、参加者に活力と夢を与えていただける場として、私たちは参加させていただいています。大分県国東市の梅園の里で開催しています「地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会」の産みの親でもあり、毎年、関係者の相互参加を続けてきました。

しかし、コロナ禍のために2年間中止となり、3年ぶりの開催に期待を胸に膨らませて2人で参加しました。受付で古市先生や森本先生、三浦先生、大島先生など、懐かしい方々にご挨拶し、また、多くの友達や先輩ともお話をすることができました。今年もコロナが心配でしたので、1日目の実践発表のみの参加でしたが新しいエネルギーをいただきました。

私たちが参加した会場は、大分県からの報告である中津市の今津校区の地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの取組をはじめとした、本法人の活動と関係がありそうな事例報告でした。コミュニティ・スクール関連の報告では、単に「…した。」ではなく、様々な課題への対応として、学校運営協議会と既存の組織や地域の活動とのつながりの重要性を感じました。さらに、そうした活動の継続性や地域への広がりなど、地域でのシステム・ネットワークづくりの重要性を痛感しました。特に、難病のために35歳という若さで亡くなられた教師（荒木佳奈さん）が病床で綴った「命の大切さ」の想いの詩をベースにした活動は、地域の思い、リーダーの思いを強く感じさせられました。特に、学校運営協議会で課題になったことで、学校では出来ないことを地域が取り組む「生きることの大切さを教えるための活動」をしている団体の報告では、学校と地域と家庭のつながりの大切さを痛感しました。35歳という若さで亡くなられた教師の母親とともに作成した詩集「つたえたい ことだま」第1巻の冒頭の詩を紹介し、（1巻～4巻を3部いただいています。必要な方は連絡ください）

透明な人より 色彩のある人へ ・ 輪郭のない人より 輪郭のある人へ
無臭な人より 薫り高き人へ ・ 声のない人より 声のある人へ
顔のない人より 顔のある人へ

（つたえたい ことだま 第1巻～第4巻）



この詩について母親は「娘の強い意志を感じる」「病と闘う中で気づいた生きることの本当の意味を伝えたいのでは..」（一部省略）と記しています。夜の交流会への思いを引きつりながら帰路につきましたが、来年2月の梅園での実践交流会、5月の篠栗での本交流会での再会と「夜の交流会」への参加ができることを楽しみにしています。（中川）

国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワークショップ推進事業の報告



環境省の事業(令和2年度 補正予算)を受託して「ユネスコ活動を通じて阿蘇くじゅう国立公園の自然の魅力を知ろう」プロジェクトを実施しました。新型コロナウイルス感染拡大及び台風による九重地区の土砂災害のため、夏ツアーの開催は中止となったが、計画を見直し、参加学生がより主体的・対話的に関わる学びの視点で、秋ツアーを実施することができました。「阿蘇くじゅう国立公園の自然の魅力を知る」というアウトプットに留まらず、体験を通してアフターワークで討議したことによって、「魅力の言語化・キャッチコピー」を考え、どのように情報発信したら多くの方に興味関心を持ってもらえるかまで深掘することで環境資源が地域資源として重要な役割を果たしていることへ再確認することができました。

国立公園の自然の魅力を身近に感じることで「学びのツアー」を開催し、その体験・経験・研修がより多くの方へ情報を届けるためのアフターワークで「くじゅうの自然満喫プラン」としてリーフレットを作成し、地域の方や関係各所へ周知することができました。

※学びツアー特設HP <https://aso-kuju-taiken.com/> A4で8ページのパンフレット
※環境・自然保全の学びと地域体験 10月30日 学生対象ツアー

県立社会教育青年の家フィールド探検と登山・長者原ビジターセンターでの研修 タテ原湿原散策・寒の地獄見学・ベリージファーム見学

※阿蘇くじゅうの自然を知るツアー 10月31日 親子対象ツアー
※阿蘇くじゅうの環境保護を学ぶツアー 11月6日 子ども対象ツアー
※阿蘇くじゅうの秋を体感、落ち葉アートワーク 満喫ツアー 11月7日 親子対象ツアー
※アフターワーク 12月5日 学生が集まり魅力提案を協議し、リーフレットの原案作成



令和4年6月11日(土)にNPO法人大分県協育アドバイザーネットの定期総会を執り行いました



今年こそは会員の皆さんと一緒に開催予定でしたが残念ながら3年連続の少数の理事のみの開催となりました。議長には富永さんを選出しました。会員の皆さんにはハガキで採決を頂き無事に1号議案から3号議案まで可決いたしました。来年度こそはコロナが終息して会員の皆さんと一緒に開催したいと思います。ハガキには会員の皆さんからの法人の活動に暖かい多くのコメントや日々の活動活動など近況報告を頂きありがとうございました。

今後も協育ネットの活動にご理解ご協力をよろしくお願いします(上原)

事務局よりお知らせ

会費納入のお願い

協育ネットの活動は皆様の会費で行っています。年会費の納入をお願いします。振込先は下記口座へ
郵貯 記号 17220 番号 4866821 トクヒ)オオイタケンキョウイクアドバイザーネット

編集後記

東京都小学校PTA協議会、全国組織からの退会検討 会費など理由に…、こんな記事がネットに出ていました、私は子どもの事を思いPTA活動に積極的に参加、小・中・高と10年…小学校ではPTA会長・町P連会長からの県P連理事まで経験させて頂きました。当時も全国組織としてのPTAには疑問でした、でも地域での単Pの活動は絶対に必要と思いましたが、家庭・地域・そして学校が三位一体で子ども達を育む事は大切な事です。私たち協育ネットが推し進めているCS(コミュニティスクール)は今の時代には必要な活動と考えています。子どもたちを地域・家庭の力で育てる事はやがて地域に子どもたちを根づかせる事にもなると思います。それはいつまでも元気で活気のある地域づくりにもなるのではないのでしょうか！編集後記でちと重い話になりましたがこれからも協育ネット会員の皆様には私たちの活動に理解&ご協力をお願いします。(広報部 上原)